

成果発表会

- 4県が繋がってできる魅力的なプランを発表しよう -

1班

おしゃべりすちゅーでんちゅ♥

KYKS (キークス) で創るつながり



※KYKSとは…

鹿児島(K)山口(Y)高知(K)
佐賀(S)の頭文字をとった
もの。

4県みんなが繋がり、繋が
れる場所となり、日本を変
えていくキーとなることを
目指す。

【話し合いで出た3つの意見】

- ・子どもの時の経験が街を好きになるかに関わる。
- ・地球温暖化を身をもって感じるが増えた。
- ・薩長土肥の繋がりを普段の生活で感じる事が無い。
→上記3つの観点から未来につながるアプローチ方法
を考える

【具体的なアプローチ方法】

- ①出身県の魅力を伝え合う会の開催→地域への関心向上
- ②環境問題の解決→持続可能な社会の実現
- ③薩長土肥4県での交流を行う(ツアー、SNSによる広報等)
- ④子育て施策の充実
- ⑤文化の継承



【理想の未来像】

県と県との往来を簡単にし、町おこし等を行うことにより、明るい未来を形成する。また、EUのような薩長土肥同盟を実現させ、人との繋がりを継続強化させる。

講評

具体的な提案がたくさんあり、とても良かった。プレゼンも筋道がしっかりとしており、聞いていて頭に入ってきやすかった。今回の繋がりを絶対に一過性にしないでほしい。

成果発表会

- 4県が繋がってできる魅力的なプランを発表しよう -

2班

ネオ維新

GESTサイクル



~GESTとは~

- G...GO (行く)
- E...Experience (経験)
- S...Spread (拡散)
- T...Traffic (交通)

- ◎ 4県共通の良い点 ◎
 - ・ 食べ物がおいしい
 - ・ 自然が豊か
- △ 4県共通の課題 △
 - ・ 交通の不便さ
 - ・ 過疎の進行

→GESTサイクルの実践

- G 若い世代の人が中心となり、他県留学や
- ▼ 地域間で繋がれる事業に参加する。
- E 実際に留学先の県で生活を送り、地域の生活
- ▼ や文化に触れて、出身県との違いを多く経験する。
- S 留学等で学んだことを拡散する。全国へ魅力を発信
- ▼ することにより、多くの人に興味を持ってもらう。
- I ICTカード統一により、交通の不便さを解消することにより
- 人の往来が増える。

◎このサイクルを何度も繰り返すことで、より強固なものになり、各県の発展につながる。

講評

全体的に論理的であり、また深く追求していく姿勢が感じられ、大変良かった。客観的にものを見る視点というのは、幕末維新の偉人たちにも共通するものであるので、大事にしてほしい。

